

20.01.03

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日
Date of Application:

2002年10月 3日

REC'D 14 MAR 2003

出願番号
Application Number:

特願 2002-291558

[ST.10/C]:

[JP 2002-291558]

出 願 人
Applicant(s):

オイレス工業株式会社

**PRIORITY
DOCUMENT**
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 2月25日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田 信一郎

出証番号 出証特2003-3010631

【書類名】 特許願

【整理番号】 11-1121

【提出日】 平成14年10月 3日

【あて先】 特許庁長官殿

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県藤沢市桐原町8番地 オイレス工業株式会社藤
 沢事業場内

 【氏名】 渡井 忠

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県藤沢市桐原町8番地 オイレス工業株式会社藤
 沢事業場内

 【氏名】 宮田 和幸

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県藤沢市桐原町8番地 オイレス工業株式会社藤
 沢事業場内

 【氏名】 金子 亮平

【特許出願人】

 【識別番号】 000103644

 【氏名又は名称】 オイレス工業株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100098095

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 高田 武志

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 002299

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9700554

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 滑り軸受

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 環状面を有した第一の軸受体と、この第一の軸受体に当該第一の軸受体の軸心の回りで回転自在となるように重ね合わされると共に当該第一の軸受体の環状面に対面した環状面を有する第二の軸受体と、両環状面間に介在されていると共に、両軸受体のうちの少なくとも一方に摺動自在に当接している合成樹脂製の環状のシートとを具備した滑り軸受。

【請求項 2】 環状のシートは、ポリアミド樹脂、ポリエステル樹脂、ポリオレフィン樹脂、ポリカーボネート樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成樹脂からなっている請求項 1 に記載の滑り軸受。

【請求項 3】 環状のシートは、0.05mm から 1.0mm の厚みを有している請求項 1 又は 2 に記載の滑り軸受。

【請求項 4】 両軸受体は、合成樹脂製である請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 5】 両軸受体は、ポリアセタール樹脂、ポリアミド樹脂、ポリエステル樹脂、ポリオレフィン樹脂、ポリカーボネート樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成樹脂からなっている請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 6】 第一の軸受体は、ポリアセタール樹脂からなっており、第二の軸受体は、ポリアセタール樹脂、ポリアミド樹脂、ポリオレフィン樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成樹脂からなっている請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 7】 第一の軸受体は、その径方向の外周縁部で第二の軸受体に当該第二の軸受体の径方向の外周縁部において弾性嵌着されるようになっている請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 8】 両軸受体のその径方向の外周縁部及び内周縁部のうちの少なくとも一方において両軸受体間には、ラビリンスが形成されるようになっている請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 9】 第二の軸受体は、その環状面に一体的に形成された突起を有しており、シートは、突起と第一の軸受体の環状面との間に介在されていると共に、突起及び第一の軸受体の環状面のうちの少なくとも一方に摺動自在に当接している請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 10】 第二の軸受体の環状面には突起で囲まれた閉塞凹所が形成されており、この閉塞凹所及び閉塞凹所に対応する環状のシートと第一の軸受体の環状面との間の環状の閉塞空間のうちの少なくとも一方には流体が充填されるようになっている請求項 9 に記載の滑り軸受。

【請求項 11】 閉塞凹所及び閉塞空間のうちの少なくとも一方に充填された流体は、スラスト荷重を受容するようになっている請求項 10 に記載の滑り軸受。

【請求項 12】 突起は、スラスト荷重下で、閉塞凹所及び閉塞空間のうちの少なくとも一方の流体充填容積を小さくするように撓み変形するようになっている請求項 10 又は 11 に記載の滑り軸受。

【請求項 13】 突起は、スラスト荷重下で、閉塞凹所及び閉塞空間のうちの少なくとも一方の流体充填容積を小さくして閉塞凹所及び閉塞空間のうちの少なくとも一方の流体に内圧を生じさせるように撓み変形するようになっている請求項 10 から 12 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 14】 流体は、グリース及び潤滑油のうちの少なくとも一つを含む請求項 10 から 13 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 15】 流体は、シリコン系グリースからなる請求項 10 から 13 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 16】 突起は、内周側の内側円環状突起と、この内側円環状突起の径方向の外側であって内側円環状突起と略同心に配された外側円環状突起とを少なくとも有している請求項 9 から 15 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 17】 突起は、内周側の内側円環状突起と、この内側円環状突起の径方向の外側であって内側円環状突起と略同心に配された外側円環状突起と、内側円環状突起及び外側円環状突起の夫々に一体に連結されて径方向に伸びた放射方向突起とを少なくとも有している請求項 9 から 15 のいずれか一項に記載の

滑り軸受。

【請求項 1 8】 第二の軸受体は、軸受部材と、この軸受部材と第一の軸受体との間に当該第一の軸受体の軸心の回りで第一の軸受体及び軸受部材のうちの少なくとも一方に対して回転自在に配された環状片とを具備しており、環状片は、第一の軸受体の合成樹脂製の環状面に対面する前記の環状面と、この前記の環状面に一体的に形成された前記の突起とを有している請求項 9 から 1 7 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 1 9】 軸受部材は、ポリアセタール樹脂からなっており、環状片は、ポリアミド樹脂、ポリオレフィン樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成樹脂からなっている請求項 1 8 に記載の滑り軸受。

【請求項 2 0】 環状片は、第一の軸受体の環状面に対面する前記の環状面に対向して配された他の環状面と、この他の環状面に一体的に形成された他の突起とを有しており、軸受部材は、環状片の他の環状面に対面すると共に、他の突起に摺動自在に当接する合成樹脂製の環状面を有している請求項 1 8 又は 1 9 に記載の滑り軸受。

【請求項 2 1】 他の突起と軸受部材の環状面との間には合成樹脂製の他の環状のシートが介在されており、この他の環状のシートは、他の突起及び軸受部材の環状面のうちの少なくとも一方に摺動自在に当接している請求項 2 0 に記載の滑り軸受。

【請求項 2 2】 他の環状のシートは、ポリアミド樹脂、ポリエステル樹脂、ポリオレフィン樹脂、ポリカーボネート樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成樹脂からなっている請求項 2 1 に記載の滑り軸受。

【請求項 2 3】 他の環状のシートは、0. 0 5 mm から 1. 0 mm の厚みを有している請求項 2 1 又は 2 2 に記載の滑り軸受。

【請求項 2 4】 環状片の他の環状面には他の突起で囲まれた他の閉塞凹所が形成されており、この他の閉塞凹所及び他の閉塞凹所に対応する他の環状のシートと軸受部材の環状面との間の他の環状の閉塞空間のうちの少なくとも一方には他の流体が充填されるようになっている請求項 2 1 から 2 3 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 2 5】 他の閉塞凹所及び他の閉塞空間に充填された他の流体は、スラスト荷重を受容するようになっている請求項 2 4 に記載の滑り軸受。

【請求項 2 6】 他の突起は、スラスト荷重下で、他の閉塞凹所及び他の閉塞空間のうちの少なくとも一方の流体充填容積を小さくするように撓み変形するようになっている請求項 2 4 又は 2 5 に記載の滑り軸受。

【請求項 2 7】 他の突起は、スラスト荷重下で、他の閉塞凹所及び他の閉塞空間のうちの少なくとも一方の流体充填容積を小さくして他の閉塞凹所及び他の閉塞空間のうちの少なくとも一方の他の流体に内圧を生じさせるように撓み変形するようになっている請求項 2 4 から 2 6 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 2 8】 他の流体は、グリース及び潤滑油のうちの少なくとも一つを含む請求項 2 4 から 2 7 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 2 9】 他の流体は、シリコン系グリースからなる請求項 2 4 から 2 7 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 3 0】 他の突起は、内周側の他の内側円環状突起と、この他の内側円環状突起の径方向の外側であって他の内側円環状突起と略同心に配された他の外側円環状突起とを少なくとも有している請求項 2 0 から 2 9 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 3 1】 他の突起は、内周側の他の内側円環状突起と、この他の内側円環状突起の径方向の外側であって他の内側円環状突起と略同心に配された他の外側円環状突起と、他の内側円環状突起及び他の外側円環状突起の夫々に一体に連結されて径方向に伸びた他の放射方向突起とを少なくとも有している請求項 2 0 から 2 9 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 3 2】 第一及び第二の軸受体の夫々は、互いに対面する円筒状面を有しており、両円筒状面間には合成樹脂製の円筒状のシートが介在されており、円筒状のシートは、両円筒状面のうちの少なくとも一方に摺動自在に当接している請求項 1 から 3 1 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【請求項 3 3】 円筒状のシートは、ポリアミド樹脂、ポリエステル樹脂、ポリオレフィン樹脂、ポリカーボネート樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成樹脂からなっている請求項 3 2 に記載の滑り軸受。

【請求項 3 4】 円筒状のシートは、0.05mm から 1.0mm の厚みを有している請求項 3 2 又は 3 3 に記載の滑り軸受。

【請求項 3 5】 四輪自動車におけるストラット型サスペンションのスラスト滑り軸受に用いるための請求項 1 から 3 4 のいずれか一項に記載の滑り軸受。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、滑り軸受、特に四輪自動車におけるストラット型サスペンション（マクファーソン式）のスラスト滑り軸受として組込まれて好適な合成樹脂製の滑り軸受に関する。

【0002】

【従来の技術】

一般に、ストラット型サスペンションは、主として四輪自動車の前輪に用いられ、主軸と一体となった外筒の中に油圧式ショックアブソーバを内蔵したストラットアセンブリにコイルばねを組合せたものである。斯かるサスペンションは、①ストラットの軸線に対してコイルばねの軸線を積極的にオフセットさせ、該ストラットに内蔵されたショックアブソーバのピストンロッドの摺動を円滑に行わせる構造のものと、②ストラットの軸線に対してコイルばねの軸線を一致させて配置させる構造のもの、とがある。いずれの構造においても、ステアリング操作によりストラットアセンブリがコイルばねと共に回転する際、当該回転を円滑に許容するべく車体の取付部材とコイルばねの上部ばね座との間にスラスト軸受が配されている。

【0003】

【特許文献 1】

特開平 1 1 - 3 0 3 8 7 3 号公報

【特許文献 2】

特開 2 0 0 2 - 2 5 7 1 4 6 号公報

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

このスラスト軸受には、ボール若しくはニードルを使用したころがり軸受又は合成樹脂製の滑り軸受が使用されている。しかしながら、ころがり軸受は、微少揺動及び振動荷重等によりボール若しくはニードルに疲労破壊を生ずる虞があり、円滑なステアリング操作を維持し難いという問題がある。滑り軸受は、ころがり軸受に比べて摩擦トルクが高いため、スラスト荷重が大きくなると摩擦トルクが大きくなり、ステアリング操作を重くする上に、合成樹脂の組合せによっては、スティックスリップ現象を生じ、往々にして当該スティックスリップ現象に起因する摩擦音を発生するという問題がある。

【0005】

また滑り軸受には、グリース等の潤滑剤が適用されるのであるが、斯かる潤滑剤が摺動面に所望に介在する限りにおいては、上記のような摩擦音は殆ど生じないのであるが、長期の使用による潤滑剤の消失等で摩擦音が生じ始める場合もあり得る。

【0006】

加えて、滑り軸受は、通常、互いに重ね合わされる二つの軸受体を具備して構成されるために、要求される摩擦特性が二つの軸受体間で得られない場合には、これら二つの軸受体の設計又は製造をやり直さなければならない等の問題がある。

【0007】

なお、上記の問題は、ストラット型サスペンションに組込まれるスラスト滑り軸受に限って生じるものではなく、一般の滑り軸受においても同様に生じ得るのである。

【0008】

本発明は前記諸点に鑑みてなされたものであって、その目的とするところは、スラスト荷重が大きくなっても摩擦トルクはほとんど変わらず、低い摩擦トルクをもって摺動面を構成できて、長期の使用でも斯かる低い摩擦係数を維持できる上に、摺動面での摩擦音の発生がなく、しかも、簡易に摩擦係数を調整できて最適な摩擦係数を得ることができ、ストラット型サスペンションにスラスト滑り軸受として組込んでもころがり軸受と同等の滑らかなステアリング操作を確保し得

る上に、ステアリングハンドルのフラッタ現象をなくし得るように最適な摩擦係数に容易に調節することができる滑り軸受を提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】

本発明の第一の態様の滑り軸受は、環状面を有した第一の軸受体と、この第一の軸受体に当該第一の軸受体の軸心の回りで回転自在となるように重ね合わされると共に当該第一の軸受体の環状面に対面した環状面を有する第二の軸受体と、両環状面間に介在されていると共に、両軸受体のうちの少なくとも一方に摺動自在に当接している合成樹脂製の環状のシートとを具備している。

【0010】

第一の態様の滑り軸受によれば、両環状面間に両軸受体のうちの少なくとも一方に摺動自在に当接している合成樹脂製の環状のシートが介在されているために、斯かるシートを交換するだけで、第一の軸受体と第二の軸受体との間の摩擦係数を簡易に調整できて最適な摩擦係数を得ることができ、ストラット型サスペンションにスラスト滑り軸受として組込んでもころがり軸受と同等の滑らかなステアリング操作を確保し得る上に、ステアリングハンドルのフラッタ現象をなくし得るように最適な摩擦係数に容易に調節することができる。

【0011】

環状のシートは、好ましくは本発明の第二の態様の滑り軸受のように、ポリアミド樹脂、ポリエステル樹脂、ポリオレフィン樹脂、ポリカーボネート樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成樹脂からなっており、また好ましくは本発明の第三の態様の滑り軸受のように、0.05mmから1.0mmの厚みを有している。

【0012】

本発明の滑り軸受では、両軸受体は、その第四の態様の滑り軸受のように、合成樹脂製であることが好ましく、具体的には、その第五の態様の滑り軸受のように、ポリアセタール樹脂、ポリアミド樹脂、ポリエステル樹脂、ポリオレフィン樹脂、ポリカーボネート樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成樹脂からなっているとよく、より好ましくは、その第六の態様の滑り軸受のよう

に、第一の軸受は、ポリアセタール樹脂からなっており、第二の軸受は、ポリアセタール樹脂、ポリアミド樹脂、ポリオレフィン樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成樹脂からなっている。

【 0 0 1 3 】

本発明の滑り軸受では、好ましくはその第七の態様の滑り軸受のように、第一の軸受は、その径方向の外周縁部で第二の軸受に当該第二の軸受の径方向の外周縁部において弾性嵌着されるようになっており、また、本発明の第八の態様の滑り軸受のように、両軸受のその径方向の外周縁部及び内周縁部のうちの少なくとも一方において両軸受間には、ラビリンスが形成されるようになっており、斯かるラビリンスにより第一の軸受と第二の軸受との間の摺動面への塵埃、泥水等の侵入を好ましく阻止できるようになる。

【 0 0 1 4 】

本発明の第九の態様の滑り軸受では、第二の軸受は、その環状面に一体的に形成された突起を有しており、シートは、突起と第一の軸受の環状面との間に介在されていると共に、突起及び第一の軸受の環状面のうちの少なくとも一方に摺動自在に当接しており、斯かる突起を有した第二の軸受を具備した滑り軸受では、本発明の第十の態様のよう、第二の軸受の環状面には突起で囲まれた閉塞凹所が形成されており、この閉塞凹所及び閉塞凹所に対応する環状のシートと第一の軸受の環状面との間の環状の閉塞空間のうちの少なくとも一方には流体が充填されるようになっている。

【 0 0 1 5 】

第十の態様の滑り軸受によれば、閉塞凹所及び閉塞空間のうちの少なくとも一方に充填された流体でもスラスト荷重を分担して受容できるようになる結果、第一の軸受の環状面に対する第二の軸受の摺動面が、閉塞凹所及び閉塞空間のうちの少なくとも一方に充填された流体の面をもって構成され得ることになって、流体接触面による極めて低い摩擦係数を有することになり、第一の軸受に対する当該第一の軸受の軸心の回りでの第二の軸受の相対的な回転をスラスト荷重下でも極めて低い摩擦抵抗でもって行わせることができ、しかも、斯かる流体がシール体としても機能し得るシートでもって密封された閉塞凹所及び閉塞空

間のうちの少なくとも一方に充填されているために長期の使用でも上記の低い摩擦係数を維持できる上に、摺動面での摩擦音の発生をなくし得、ストラット型サスペンションに組込んでもころがり軸受と同等の滑らかなステアリング操作を確保し得る。

【 0 0 1 6 】

したがって本発明の第十一の態様の滑り軸受のように、閉塞凹所及び閉塞空間のうちの少なくとも一方に充填された流体は、スラスト荷重を受容するようになっているとよい。

【 0 0 1 7 】

突起は、好ましくは本発明の第十二の態様の滑り軸受のように、スラスト荷重下で、閉塞凹所及び閉塞空間のうちの少なくとも一方の流体充填容積を小さくするように撓み変形するようになっており、より具体的には本発明の第十三の態様の滑り軸受のように、スラスト荷重下で、閉塞凹所及び閉塞空間のうちの少なくとも一方の流体充填容積を小さくして閉塞凹所及び閉塞空間のうちの少なくとも一方の流体に内圧を生じさせるように撓み変形するようになっている。

【 0 0 1 8 】

閉塞凹所及び閉塞空間のうちの少なくとも一方に充填される流体は、本発明の第十四の態様の滑り軸受のように、グリース及び潤滑油のうちの少なくとも一つを含んでおり、より好ましくは本発明の第十五の態様の滑り軸受のように、シリコン系グリースからなる。

【 0 0 1 9 】

突起は、好ましい例では本発明の第十六の態様の滑り軸受のように、内周側の内側円環状突起と、この内側円環状突起の径方向の外側であって内側円環状突起と略同心に配された外側円環状突起とを少なくとも有しており、他の好ましい例では本発明の第十七の態様の滑り軸受のように、内周側の内側円環状突起と、この内側円環状突起の径方向の外側であって内側円環状突起と略同心に配された外側円環状突起と、内側円環状突起及び外側円環状突起の夫々に一体に連結されて径方向に伸びた放射方向突起とを少なくとも有している。

【 0 0 2 0 】

本発明においては、第二の軸受体は、一体化された一部材からなっているもよいが、これに代えて、本発明の第十八の態様の滑り軸受のように、軸受部材と、この軸受部材と第一の軸受体との間に当該第一の軸受体の軸心の回りで第一の軸受体及び軸受部材のうちの少なくとも一方に対して回転自在に配された環状片とを具備しているとよく、ここで、環状片は、第一の軸受体の合成樹脂製の環状面に対面する前記の環状面と、この前記の環状面に一体的に形成された前記の突起とを有している。なお、軸受部材と突起を有しない環状片とでもって本発明に係る第二の軸受体を構成してもよい。

【 0 0 2 1 】

軸受部材と環状片との二部材を具備してなる第二の軸受体において、好ましくは本発明の第十九の態様の滑り軸受のように、軸受部材は、ポリアセタール樹脂からなっており、環状片は、ポリアミド樹脂、ポリオレフィン樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成樹脂からなっている。

【 0 0 2 2 】

本発明の第二十の態様の滑り軸受のように、環状片は、第一の軸受体の環状面に対面する前記の環状面に対向して配された他の環状面と、この他の環状面に一体的に形成された他の突起とを有しており、軸受部材は、環状片の他の環状面に対面すると共に、他の突起に摺動自在に当接する合成樹脂製の環状面を有しているのが好ましいが、これに代えて、軸受部材と突起を有しない環状片とでもって本発明に係る第二の軸受体を構成してもよい。

【 0 0 2 3 】

軸受部材と突起を有しない環状片とでもって本発明に係る第二の軸受体を構成する場合、軸受部材の環状面を環状片の他の環状面に直接的に当接させてもよいが、これに代えて、軸受部材の環状面と環状片の他の環状面との間に他の環状のシートを介在させてもよく、また環状片が他の突起を有する場合には、本発明の第二十一の態様の滑り軸受のように、他の突起と軸受部材の環状面との間に合成樹脂製の他の環状のシートを介在させて、この他の環状のシートを他の突起及び軸受部材の環状面のうちの少なくとも一方に摺動自在に当接させてもよい。

【 0 0 2 4 】

本発明の第二十二の態様の滑り軸受のように、他の環状のシートは、前記のシートと同様に、ポリアミド樹脂、ポリエステル樹脂、ポリオレフィン樹脂、ポリカーボネート樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成樹脂からなっており、また本発明の第二十三の態様の滑り軸受のように、0.05mmから1.0mmの厚みを有しているといふ。

【0025】

本発明の第二十四の態様の滑り軸受のように、環状片の他の環状面には他の突起で囲まれた他の閉塞凹所が形成されており、この他の閉塞凹所及び他の閉塞凹所に対応する他の環状のシートと軸受部材の環状面との間の他の環状の閉塞空間のうちの少なくとも一方には他の流体が充填されるようになっているとよく、また好ましくは本発明の第二十五の態様の滑り軸受のように、他の閉塞凹所及び他の閉塞空間に充填された他の流体は、スラスト荷重を受容するようになっているとよく、更に好ましくは本発明の第二十六の態様の滑り軸受のように、他の突起は、スラスト荷重下で、他の閉塞凹所及び他の閉塞空間のうちの少なくとも一方の流体充填容積を小さくするように撓み変形するようになっているとよく、また本発明の第二十七の態様の滑り軸受のように、スラスト荷重下で、他の閉塞凹所及び他の閉塞空間のうちの少なくとも一方の流体充填容積を小さくして他の閉塞凹所及び他の閉塞空間のうちの少なくとも一方の他の流体に内圧を生じさせるように撓み変形するようになっているとよく。

【0026】

他の流体もまた、好ましくは本発明の第二十八の態様の滑り軸受のように、グリース及び潤滑油のうちの少なくとも一つを含んでおり、より好ましくは本発明の第二十九の態様の滑り軸受のように、シリコン系グリースからなる。

【0027】

本発明の第三十の態様の滑り軸受のように、他の突起は、前述の突起と同様に、内周側の他の内側円環状突起と、この他の内側円環状突起の径方向の外側であって他の内側円環状突起と略同心に配された他の外側円環状突起とを少なくとも有していても、本発明の第三十一の態様の滑り軸受のように、内周側の他の内側円環状突起と、この他の円環状突起の径方向の外側であって他の内側円環状突起

と略同心に配された他の外側円環状突起と、他の内側円環状突起及び他の外側円環状突起の夫々に一体に連結されて径方向に伸びた他の放射方向突起とを少なくとも有していてもよい。

【 0 0 2 8 】

本発明においては、第一及び第二の軸受体の夫々は、その第三十二の態様の滑り軸受のように、互いに対面する円筒状面を有していてもよく、この場合、両円筒状面間に合成樹脂製の円筒状のシートを介在させて、円筒状のシートを両円筒状面のうちの少なくとも一方に摺動自在に当接させるとよい。

【 0 0 2 9 】

本発明の第三十三の態様の滑り軸受のように、好ましくは、円筒状のシートもまた、前述のシートと同様に、ポリアミド樹脂、ポリエステル樹脂、ポリオレフィン樹脂、ポリカーボネート樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成樹脂からなっており、本発明の第三十四の態様の滑り軸受のように、0. 0 5 mmから1. 0 mmの厚みを有しているとよい。

【 0 0 3 0 】

本発明の滑り軸受は、好ましくはその第三十五の態様の滑り軸受のように、四輪自動車におけるストラット型サスペンションのスラスト滑り軸受に用いるためのものであるが、これに限定されず、その他のものに用いられるものであってもよい。

【 0 0 3 1 】

本発明の滑り軸受は、好ましくはその第三十五の態様の滑り軸受のように四輪自動車におけるストラット型サスペンションに用いるためのものであって、ここで、第一の軸受体が上ケース又は下ケースであり、第二の軸受体が下ケース又は上ケースであっても、第一の軸受体が上ケースであり、第二の軸受体が軸受片及び下ケースからなっているとしても、そして、第一の軸受体が下ケースからなっており、第二の軸受体が軸受片及び上ケースであってもよい。

【 0 0 3 2 】

次に本発明及びその実施の形態を、図に示す好ましい例を参照して説明する。
なお、本発明はこれら例に何等限定されないものである。

【 0 0 3 3 】

【発明の実施の形態】

図 1 から図 3 において、本例の四輪自動車におけるストラット型サスペンションに用いるための滑り軸受 1 は、合成樹脂製としてポリアセタール樹脂製の環状面 2 を有した第一の軸受体としての上ケース 3 と、上ケース 3 に当該上ケース 3 の軸心 O の回りで R 方向に回転自在となるように重ね合わされると共に当該上ケース 3 の環状面 2 に対面した合成樹脂製の環状面 4 を有する第二の軸受体 5 と、両環状面 2 及び 4 間に介在されていると共に、上ケース 3 及び軸受体 5 のうちの少なくとも一方、本例では上ケース 3 及び軸受体 5 の両方に摺動自在に当接している合成樹脂製の環状のシート 6 とを具備している。

【 0 0 3 4 】

合成樹脂製の上ケース 3 は、中央部の円形状孔 1 1 を規定する内周面 1 2 を有すると共に環状面 2 を有した円環状の上ケース本体部 1 3 と、上ケース本体部 1 3 の径方向の内周縁に一体に形成されていると共に軸受体 5 に向かって垂下した最内周側円筒状垂下部 1 4 と、最内周側円筒状垂下部 1 4 の径方向の外側に配されていると共に環状面 2 に一体に形成されており、しかも、軸受体 5 に向かって垂下した内周側円筒状垂下部 1 5 と、上ケース本体部 1 3 の径方向の外周縁に一体に形成された円筒状垂下係合部 1 6 と、円筒状垂下係合部 1 6 の径方向の内側であって内周側円筒状垂下部 1 5 の径方向の外側に配されていると共に環状面 2 に一体に形成されている外周側円筒状垂下部 1 7 と、円筒状垂下係合部 1 6 の径方向の内周面に形成された係合フック部 1 8 とを備えて、一体形成されている。

【 0 0 3 5 】

内周側の内側円環状突起 1 9 と内側円環状突起 1 9 の径方向の外側であって内側円環状突起 1 9 と略同心に配された外側円環状突起 2 0 とからなって環状面 4 に一体的に形成された突起を有した軸受体 5 は、軸受部材としてのポリアセタール樹脂製の下ケース 2 1 と、下ケース 2 1 と上ケース 3 との間に当該上ケース 3 の軸心 O の回りで上ケース 3 及び下ケース 2 1 のうちの少なくとも一方、本例では両方に対して回転自在に配されていると共に合成樹脂製、好ましくはポリアミド樹脂、ポリオレフィン樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成

樹脂からなっている環状片 2 2 とを具備している。

【 0 0 3 6 】

合成樹脂製の下ケース 2 1 は、内周面 3 0 を有すると共に環状面 3 1 を有した円環状の下ケース本体部 3 2 と、下ケース本体部 3 2 の径方向の内周縁に一体に形成されていると共に最内周側円筒状垂下部 1 4 及び内周側円筒状垂下部 1 5 間に配されるように上ケース 3 に向かって突出した最内周側円筒状突出部 3 3 と、最内周側円筒状突出部 3 3 の径方向の外側に配されていると共に環状面 3 1 に一体に形成されており、しかも、上ケース 3 に向かって突出した内周側円筒状突出部 3 4 と、下ケース本体部 3 2 の径方向の外周縁に一体に形成されていると共に、円筒状垂下係合部 1 6 及び外周側円筒状垂下部 1 7 間に配されるように上ケース 3 に向かって突出した円筒状突出係合部 3 5 と、円筒状突出係合部 3 5 の径方向の内側であって内周側円筒状突出部 3 4 の径方向の外側に配されていると共に環状面 3 1 に一体に形成されており、しかも、上ケース 3 に向かって突出した外周側円筒状突出部 3 6 と、円筒状突出係合部 3 5 の径方向の外周面に形成されていると共に、係合フック部 1 8 に係合する係合フック部 3 7 と、下ケース本体部 3 2 の径方向の内周側において当該下ケース本体部 3 2 の外面 3 8 に一体に形成されていると共に内周面 3 0 に連続した内周面 3 9 を有して下方に突出した円筒部 4 0 とを備えて、一体形成されており、内周面 3 0 と内周面 3 9 とによって円形状孔 1 1 と略同心の下ケース本体部 3 2 の中央部の円形状孔 4 1 が規定されている。

【 0 0 3 7 】

最内周側円筒状突出部 3 3 は、環状面 3 1 からのその高さ H_1 が同じく環状面 3 1 からの内周側円筒状突出部 3 4 の高さ H_2 よりも低くなるように形成されており、円筒状突出係合部 3 5 もまた、環状面 3 1 からのその高さ H_3 が同じく環状面 3 1 からの外周側円筒状突出部 3 6 の高さ H_4 よりも低くなるように形成されている（図 5 参照）。なお、本発明はこれらに限定されず、例えば最内周側円筒状突出部 3 3 と内周側円筒状突出部 3 4 とを同一の高さ（ $H_1 = H_2$ ）としてもよく、同じく円筒状突出係合部 3 5 と外周側円筒状突出部 3 6 とを同一の高さ（ $H_3 = H_4$ ）としてもよい。

【 0 0 3 8 】

環状片 2 2 は、環状面 2 に対面する環状面 4 と、環状面 4 に一体的に形成された内側円環状突起 1 9 及び外側円環状突起 2 0 に加えて、環状面 4 に対向して配された他の環状面 5 5 と、内周側の内側円環状突起 5 6 及び内側円環状突起 5 6 の径方向の外側であって内側円環状突起 5 6 と略同心に配された外側円環状突起 5 7 とからなって環状面 5 5 に一体的に形成された他の突起とを有しており、環状片 2 2 の環状面 5 5 に対面する下ケース 2 1 の合成樹脂製の環状面 3 1 は、内側円環状突起 1 9 及び外側円環状突起 2 0 と同様に形成された内側円環状突起 5 6 及び外側円環状突起 5 7 に摺動自在に当接している。

【 0 0 3 9 】

環状面 4 には内側円環状突起 1 9 及び外側円環状突起 2 0 で囲まれた環状の閉塞凹所 5 8 が形成されており、環状面 5 5 には内側円環状突起 5 6 及び外側円環状突起 5 7 で囲まれた環状の閉塞凹所 5 9 が形成されており、閉塞凹所 5 8 及び 5 9 にはグリース及び潤滑油のうちの少なくとも一つ、好ましくはシリコン系グリースからなる流体 6 0 及び 6 1 が一杯に充填されている。

【 0 0 4 0 】

合成樹脂製、好ましくは、ポリアミド樹脂、ポリエステル樹脂、ポリオレフィン樹脂、ポリカーボネート樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成樹脂からなっていると共に、0. 0 5 mm から 1. 0 mm の厚みを有しているシート 6 は、内側円環状突起 1 9 及び外側円環状突起 2 0 からなる突起と環状面 2 との間に介在されていると共に、内側円環状突起 1 9 及び外側円環状突起 2 0 からなる突起と環状面 2 とのうちの少なくとも一方、本例では両方に摺動自在に当接している。

【 0 0 4 1 】

閉塞凹所 5 8 は、シート 6 に対面するその面積がシート 6 に摺動自在に当接する内側円環状突起 1 9 及び外側円環状突起 2 0 の合計面積よりも大きくなるように、内側円環状突起 1 9 及び外側円環状突起 2 0 で囲まれている、換言すれば、閉塞凹所 5 8 は、シート 6 に接触する流体 6 0 の面積がシート 6 に摺動自在に当接する内側円環状突起 1 9 及び外側円環状突起 2 0 の合計面積よりも大きくなる

ように、内側円環状突起 19 及び外側円環状突起 20 で囲まれており、閉塞凹所 59 は、環状面 31 に対面するその面積が環状面 31 に摺動自在に当接する内側円環状突起 56 及び外側円環状突起 57 の合計面積よりも大きくなるように、内側円環状突起 56 及び外側円環状突起 57 で囲まれている、換言すれば、閉塞凹所 59 は、環状面 31 に接触する流体 61 の面積が環状面 31 に摺動自在に当接する内側円環状突起 56 及び外側円環状突起 57 の合計面積よりも大きくなるように、内側円環状突起 56 及び外側円環状突起 57 で囲まれている。

【0042】

内側円環状突起 19 及び外側円環状突起 20 は、スラスト荷重下で、閉塞凹所 58 の流体充填容積を小さくして閉塞凹所 58 の流体 60 に内圧を生じさせるように撓み変形してシート 6 に当接するようになっており、内側円環状突起 56 及び外側円環状突起 57 もまた、スラスト荷重下で、閉塞凹所 59 の流体充填容積を小さくして閉塞凹所 59 の流体 61 に内圧を生じさせるように撓み変形して環状面 31 に当接するようになっている。

【0043】

上ケース 3 は、その径方向の外周縁部の円筒状垂下係合部 16 の係合フック部 18 で下ケース 21 における径方向の外周縁部の円筒状突出係合部 35 の係合フック部 37 にスナップフィット式に弾性係合して下ケース 21 に弾性嵌着されるようになっている。

【0044】

上ケース 3 及び下ケース 21 のその径方向の外周縁部及び内周縁部のうちの少なくとも一方、本例では両縁部において、上ケース 3 及び下ケース 21 間には、上ケース本体部 13、円筒状垂下係合部 16 及び外周側円筒状垂下部 17 と下ケース本体部 32、円筒状突出係合部 35 及び外周側円筒状突出部 36 とによりラビリンス（迷路）65 が形成されるようになっており、上ケース本体部 13、最内周側円筒状垂下部 14 及び内周側円筒状垂下部 15 と下ケース本体部 32、最内周側円筒状突出部 33 及び内周側円筒状突出部 34 とによりラビリンス 66 が形成されるようになっており、斯かる外周縁部のラビリンス 65 及び内周縁部のラビリンス 66 により閉塞凹所 58 及び 59 への外部からの塵埃、泥水等の侵入

が防止されている。

【 0 0 4 5 】

以上の滑り軸受 1 は、図 4 に示すようなストラット型サスペンションアセンブリにおけるコイルばね 7 1 の上部ばね座 7 2 と、油圧ダンパのピストンロッド 7 3 が固着される車体側の取付部材 7 4 との間に装着されて用いられる。この場合、円形状孔 1 1 及び 4 1 にピストンロッド 7 3 の上部が上ケース 3 及び下ケース 2 1 に対して軸心 O の回りで R 方向に回転自在になるようにして挿通される。

【 0 0 4 6 】

図 4 に示すように滑り軸受 1 を介して装着されたストラット型サスペンションアセンブリでは、ステアリング操作に際してはコイルばね 7 1 を介する上部ばね座 7 2 の軸心 O の回りで相対的な R 方向の回転は、上ケース 3 に対する下ケース 2 1 の同方向の相対的な回転で滑らかに行われる。

【 0 0 4 7 】

そして、滑り軸受 1 によれば、上ケース 3 の上ケース本体部 1 3 並びに環状片 2 2 の内側円環状突起 1 9 及び外側円環状突起 2 0 に摺動自在に当接している合成樹脂製の環状のシート 6 が両環状面 2 及び 4 間に介在されているために、斯かるシート 6 を交換するだけで、上ケース 3 及び環状片 2 2 の間の摩擦係数を簡易に調整できて最適な摩擦係数を得ることができ、ストラット型サスペンションにスラスト滑り軸受として組込んでもしっかり軸受と同等の滑らかなステアリング操作を確保し得る上に、ステアリングハンドルのフラッタ現象をなくし得るように最適な摩擦係数に容易に調節することができる。

【 0 0 4 8 】

加えて、滑り軸受 1 によれば、シート 6 に摺動自在に当接する内側円環状突起 1 9 及び外側円環状突起 2 0 で囲まれた閉塞凹所 5 8 が環状面 4 に形成されて、斯かる閉塞凹所 5 8 にシリコーン系グリースからなる流体 6 0 が充填されるようになっていると共に、内側円環状突起 1 9 及び外側円環状突起 2 0 は、スラスト荷重下で、閉塞凹所 5 8 の流体充填容積を小さくして閉塞凹所 5 8 の流体 6 0 に内圧を生じさせるように撓み変形してシート 6 に当接するようになっている結果、閉塞凹所 5 8 に充填された流体 6 0 でもスラスト荷重を分担して受容できるよ

うになり、換言すればシート6に対する下ケース21の摺動面が、シート6に接触する内側円環状突起19及び外側円環状突起20の面と閉塞凹所58に充填されてシート6に接触する流体60の面とで構成されることになる。

【0049】

また滑り軸受1によれば、閉塞凹所58に充填されてシート6に接触する流体60の面の面積が、シート6に摺動自在に当接する内側円環状突起19及び外側円環状突起20の合計面積よりも大きくなるように設定してあるので、内側円環状突起19及び外側円環状突起20で負担するスラスト荷重が大幅に減少し、内側円環状突起19及び外側円環状突起20とシート6との摩擦抵抗が大幅に減少すると共に、シート6に接触する流体60の面による摩擦抵抗は非常に小さいので全体として極めて低い摩擦抵抗が得られる。したがって、上ケース3に対する当該上ケース3の軸心Oの回りでの下ケース21のR方向の相対的な回転をスラスト荷重下でも極めて低い摩擦抵抗でもって行わせることができ、しかも、斯かる流体60がシール体としても機能し得るシート6でもって密封された閉塞凹所58に充填されているために長期の使用でも低い摩擦係数を維持できる上に、摺動面での摩擦音の発生をなくし得、ストラット型サスペンションに組込んでみてもこがり軸受と同等の滑らかなステアリング操作を確保し得ることになる。

【0050】

滑り軸受1では、閉塞凹所59にも流体61が充填されて、内側円環状突起56及び外側円環状突起57がスラスト荷重下で閉塞凹所59の流体充填容積を小さくして閉塞凹所59の流体61に内圧を生じさせるように撓み変形して環状面31に当接するようになっているために、シート6と内側円環状突起19及び外側円環状突起20との間の摩擦抵抗が何らかの原因で大きくなっても、前記と同様にして内側円環状突起56及び外側円環状突起57と環状面31との極めて低い摩擦抵抗をもった摺動を確保できて、而して、上ケース3に対する当該上ケース3の軸心Oの回りでの下ケース21のR方向の相対的な回転をスラスト荷重下でも極めて低い摩擦抵抗でもって行わせることができ、フェールセーフなものとなる。

【0051】

上記では、シート6を環状面2にびたりと沿わせて内側円環状突起19及び外側円環状突起20からなる突起と環状面2との間に介在させたが、これに代えて、図5に示すように、閉塞凹所58に対応する環状の閉塞空間81がシート6と環状面2との間に形成されるように、シート6を環状面4にびたりと沿わせて内側円環状突起19及び外側円環状突起20からなる突起と環状面2との間に介在させてもよく、この場合には、閉塞空間81に流体60を一杯に充填し、閉塞空間81に充填された流体60でもって上述と同様にしてスラスト荷重を受容するとよい。また、シート6を環状面2又は4にびたりと沿わせる代わりに、閉塞凹所58と閉塞空間81との両方が環状面2と環状面4との間に形成されるようにシート6を撓ませて、しかも、閉塞凹所58と閉塞空間81との両方に流体60を一杯に充填してもよい。

【0052】

また上記の滑り軸受1では、環状面55に内側円環状突起56と外側円環状突起57とを有した環状片22を用いたが、これに代えて、図6に示すように内側円環状突起56と外側円環状突起57とを設けることなしに、平坦な環状面55を有した環状片22を用い、環状面55を下ケース本体部32の平坦な環状面31に摺動自在に接触させて滑り軸受1を構成してもよく、更には、上記のように下ケース21と別体の環状片22とで軸受体5を構成する代わりに、図7に示すように環状片22と同等の環状中央突出部82を下ケース本体部32に一体的に形成して、環状中央突出部82の環状面4に一体的に内側円環状突起19と外側円環状突起20とからなる突起を形成して、内側円環状突起19と外側円環状突起20とからなる突起をシート6に摺動自在に当接させてもよく、この場合、図7に示すように内周側円筒状突出部34と外周側円筒状突出部36とを環状中央突出部82に一体化してもよく、これに代えて、内周側円筒状突出部34及び外周側円筒状突出部36との間に径方向の隙間を生じさせて環状中央突出部82を下ケース本体部32に一体的に形成しても又は内周側円筒状突出部34と外周側円筒状突出部36とを省いて環状中央突出部82を下ケース本体部32に一体的に形成してもよい。

【0053】

また上記の滑り軸受1では、シート6を環状面2及び4間に介在させたが、これに代えて、図8から図10に示すように、シート6を環状面31及び環状面55間に介在させて、内側円環状突起56及び外側円環状突起57からなる突起と環状面31との両方にシート6を摺動自在に当接させてもよく、ここで、図8に示すように、環状片22の内側円環状突起19及び外側円環状突起20からなる突起を環状面2に摺動自在に当接させてもよく、図9に示すように、環状片22の平坦な環状面4を環状面2に摺動自在に当接させてもよく、また図10に示すように、上ケース本体部13に一体的に形成されていると共に環状片22と同等であって環状中央突出部82と同様の環状中央突出部83をもって上ケース3を構成してもよく、いずれの場合も、閉塞凹所59にシリコン系グリースからなる流体61を一杯に充填するとよく、また、閉塞空間81と同等の閉塞空間を環状面31と環状面55との間に形成して斯かる閉塞空間に前記と同様にシリコン系グリース等の流体61を一杯に充填してもよい。

【0054】

加えて、例えば図11に示すように、シート6を環状面2及び環状面4間に介在させると共に、環状面31及び環状面55間にも他のシート6を介在させてもよく、この場合、環状面2並びに内側円環状突起19及び外側円環状突起20にシート6を摺動自在に当接させると共に、環状面31並びに内側円環状突起56及び外側円環状突起57に合成樹脂製の他のシート6を摺動自在に当接させてもよいが、図11に示すように、平坦な環状面4及び55を有した環状片22を用いて、両シート6を平坦な環状面4及び55の夫々に摺動自在に当接させてもよい。合成樹脂製の他のシート6もまた、ポリアミド樹脂、ポリエステル樹脂、ポリオレフィン樹脂、ポリカーボネート樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成樹脂からなって、0.05mmから1.0mmの厚みを有しているとよい。

【0055】

ところで、上記の滑り軸受1では、上ケース本体部13の環状面2に最内周側円筒状垂下部14と内周側円筒状垂下部15とを一体に形成して上ケース3を構成し、下ケース本体部32の環状面31に最内周側円筒状突出部33と内周側円

筒状突出部 3 4 等とを一体に形成して下ケース 2 1 を構成したが、これに代えて、図 1 2 に示すように、上ケース本体部 1 3 の環状の外表面 9 0 に一体的に形成された円筒状部 9 1 と、円筒状部 9 1 に一体的に形成された環状部 9 2 と、環状部 9 2 に一体的に形成された円筒状垂下部 9 3 とを具備して上ケース 3 を構成すると共に、下ケース本体部 3 2 の環状面 3 1 に一体的に形成されていると共に、円筒状部 9 1 と略同心であって円筒状部 9 1 の径方向内方に配された円筒状部 9 5 と、下ケース本体部 3 2 の環状面 3 1 及び円筒状部 9 5 の円筒状の外表面 9 6 に一体的に形成されている環状突部 9 7 と、円筒状部 9 5 の環状の端面 9 8 に一体的に形成されていると共に、円筒状部 9 1 及び円筒状垂下部 9 3 間に配された円筒状突部 9 9 とを具備して下ケース 2 1 を構成してもよい。

【 0 0 5 6 】

図 1 2 に示す滑り軸受 1 では、上ケース 3 及び下ケース 2 1 間には、円筒状部 9 1、環状部 9 2 及び円筒状垂下部 9 3 と円筒状部 9 5 及び円筒状突部 9 9 とをもってラビリンス 6 6 が形成されるようになっており、円筒状部 9 5 の円筒状の内面 1 0 1 で規定される円形状孔 1 0 2 にピストンロッド 7 3 の上部が上ケース 3 及び下ケース 2 1 に対して軸心 O の回りで R 方向に回転自在になるようにして挿通されるようになっている。そして、図 1 2 に示す滑り軸受 1 でも、前記と同様に、上ケース 3 及び下ケース 2 1 間には、上ケース本体部 1 3、円筒状垂下係合部 1 6 及び外周側円筒状垂下部 1 7 と下ケース本体部 3 2、円筒状突出係合部 3 5 及び外周側円筒状突出部 3 6 とによりラビリンス 6 5 が形成されていると共に、シート 6 が例えば両環状面 2 及び 4 間に介在されている。

【 0 0 5 7 】

上ケース 3 及び下ケース 2 1 を更に図 1 3 に示すように構成してもよい。図 1 3 に示す滑り軸受 1 では、上ケース 3 は、上述の上ケース本体部 1 3、円筒状垂下係合部 1 6、外周側円筒状垂下部 1 7 及び係合フック部 1 8 に加えて、上ケース本体部 1 3 の環状面 2 に一体的に形成された垂下円筒状部 1 1 1 と、垂下円筒状部 1 1 1 の端面 1 1 2 に一体的に形成されている互いに略同心の一对の垂下環状部 1 1 3 及び 1 1 4 と、上ケース本体部 1 3 の環状面 2 及び垂下円筒状部 1 1 1 の径方向の外側の円筒状面 1 1 5 に一体的に形成されている円筒状部 1 1 6 と

を具備しており、下ケース 2 1 は、上述の下ケース本体部 3 2、内周側円筒状突出部 3 4、円筒状突出係合部 3 5、外周側円筒状突出部 3 6 及び係合フック部 3 7 に加えて、下ケース本体部 3 2 の径方向の内周側における下ケース本体部 3 2 の外面 3 8 に一体に形成されている円筒部 1 2 1 と、環状の段部 1 2 6 を形成して円筒部 1 2 1 の端面に一体に形成されている中空の截頭円錐部 1 2 2 と、截頭円錐部 1 2 2 の内周面に一体に形成されている環状部 1 2 3 と、環状部 1 2 3 の環状面 1 2 4 に一体に形成されていると共に一对の垂下環状部 1 1 3 及び 1 1 4 間に配された円筒状突部 1 2 5 とを具備している。

【 0 0 5 8 】

図 1 3 に示す滑り軸受 1 では、上ケース 3 及び下ケース 2 1 間には、前記と同様のラビリンス 6 5 に加えて、垂下円筒状部 1 1 1、一对の垂下環状部 1 1 3 及び 1 1 4 と、環状部 1 2 3 及び円筒状突部 1 2 5 とによりラビリンス 6 6 が形成されていると共に、シート 6 が例えば両環状面 2 及び 4 間並びに両環状面 3 1 及び 5 5 間に介在されており、垂下円筒状部 1 1 1 の円筒状の内面 1 3 1 で規定される円形状孔 1 3 2 にピストンロッド 7 3 の上部が上ケース 3 及び下ケース 2 1 に対して軸心 O の回りで R 方向に回転自在になるようにして挿通されるようになっている。

【 0 0 5 9 】

ところで、図 1 3 に示す滑り軸受 1 のように、垂下円筒状部 1 1 1 の径方向の外側の円筒状面 1 1 5 と円筒状面 1 1 5 に対面する円筒部 1 2 1 の径方向の内側の円筒状面 1 4 2 との間に円筒状のラジアル軸受体 1 4 5 及び円筒状のシート 1 4 6 を介在させてもよく、ここで、ラジアル軸受体 1 4 5 は、図 1 4 に示すように、円筒部 1 4 0 と、円筒部 1 4 0 の一方の環状の端面 1 4 9 から円筒部 1 4 0 の他方の環状の端面 1 5 0 まで伸びていると共に円筒部 1 4 0 の円筒状の内面 1 4 7 に一体的に形成された複数の突起 1 4 8 とを有しており、円筒状のシート 1 4 6 は、シート 6 と同様に、ポリアミド樹脂、ポリエステル樹脂、ポリオレフィン樹脂、ポリカーボネート樹脂及びフッ素樹脂のうちの少なくとも一つを含む合成樹脂からなっていると共に 0. 0 5 mm から 1. 0 mm の厚みを有しており、ラジアル軸受体 1 4 5 内に配されて、その円筒状の外面 1 6 1 では、複数の突起

1 4 8 の各頂面 1 6 2 に摺動自在に当接しており、その円筒状の内面 1 6 3 では垂下円筒状部 1 1 1 の円筒状面 1 1 5 に摺動自在に当接している。

【 0 0 6 0 】

斯かる互いに対面する円筒状面 1 1 5 及び 1 4 2 を夫々有した上ケース 3 及び軸受体 5 を具備して、両円筒状面 1 1 5 及び 1 4 2 間に合成樹脂製の円筒状のシート 1 4 6 が介在されて、円筒状のシート 1 4 6 が両円筒状面 1 1 5 及び 1 4 2 のうちの少なくとも一方に、本例では円筒状面 1 1 5 に摺動自在に当接し、円筒部 1 4 0 の円筒状の外表面 1 6 5 が円筒状面 1 4 2 に摺動自在に当接している滑り軸受 1 では、上ケース 3 に対する軸受体 5 のラジアル方向（径方向）荷重をラジアル軸受体 1 4 5 及び円筒状のシート 1 4 6 を介して受容でき、而して、ラジアル荷重下でも上ケース 3 に対する当該上ケース 3 の軸心 O の回りでの下ケース 2 の R 方向の相対的な回転を極めて低い摩擦抵抗でもって行わせることができる。

【 0 0 6 1 】

ラジアル軸受体 1 4 5 としては、複数の突起 1 4 8 を設けずに円筒部 1 4 0 のみで構成してもよく、また、円筒部 1 4 0 の外表面 1 6 5 に一体的に複数の突起 1 4 8 を形成してもよく、この場合には、ラジアル軸受体 1 4 5 の径方向の外側にシート 1 4 6 を配置するとよく、更には、円筒部 1 4 0 の内面 1 4 7 及び外表面 1 6 5 の両方に一体的に複数の突起 1 4 8 を形成してもよく、ラジアル軸受体 1 4 5 の斯かるいずれの態様においても、シート 1 4 6 をラジアル軸受体 1 4 5 の径方向の外側及び内側の両方に配してもよい。

【 0 0 6 2 】

環状片 2 2 としては、内側円環状突起 1 9 及び外側円環状突起 2 0 及び内側円環状突起 5 6 及び外側円環状突起 5 7 の少なくとも一方に加えて、図 1 5 に示すように、内側円環状突起 1 9 （5 6）並びに外側円環状突起 2 0 （5 7）の夫々に一体に連結されて径方向に伸びていると共に、円周方向において等間隔に配された複数の放射方向突起 1 5 1 を有して構成してもよく、図 1 5 に示す環状片 2 2 の場合には、内側円環状突起 1 9 （5 6）及び外側円環状突起 2 0 （5 7）と複数の放射方向突起 1 5 1 とによって囲まれていると共に互いに独立な複数の閉

塞凹所 152 に前記と同様のシリコン系グリースからなる流体 60 (61) を一杯に充填するとよい。

【0063】

更に環状片 22 としては、内側円環状突起 19 (56) 並びに外側円環状突起 20 (57) を具備して構成する代わりに、図 16 に示すように、環状面 4 及び 55 の少なくとも一方に一体的に形成されていると共に円周方向において等間隔に配された複数の放射方向突起 171 を具備して構成してもよく、環状面 4 及び 55 の両方に複数の放射方向突起 171 を形成する場合には、環状面 4 の複数の放射方向突起 171 と環状面 55 の複数の放射方向突起 171 とを円周方向において互いに位置をずらせて配置するとよい。

【0064】

【発明の効果】

本発明によれば、スラスト荷重が大きくなっても摩擦トルクはほとんど変わらず、低い摩擦トルクをもって摺動面を構成できて、長期の使用でも斯かる低い摩擦係数を維持できる上に、摺動面での摩擦音の発生がなく、しかも、簡易に摩擦係数を調整できて最適な摩擦係数を得ることができ、ストラット型サスペンションにスラスト滑り軸受として組込んでもころがり軸受と同等の滑らかなステアリング操作を確保し得る上に、ステアリングハンドルのフラッタ現象をなくし得るように最適な摩擦係数に容易に調節することができる合成樹脂製の滑り軸受を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施の形態の好ましい一例の断面図である。

【図 2】

図 1 に示す例の環状片の平面図である。

【図 3】

図 1 に示す例のシートの平面図である。

【図 4】

図 1 に示す例をストラット型サスペンションに組込んだ例の説明図である。

【図 5】

本発明の実施の形態の好ましい他の例の一部の断面図である。

【図 6】

本発明の実施の形態の好ましい更に他の例の一部の断面図である。

【図 7】

本発明の実施の形態の好ましい更に他の例の一部の断面図である。

【図 8】

本発明の実施の形態の好ましい更に他の例の一部の断面図である。

【図 9】

本発明の実施の形態の好ましい更に他の例の一部の断面図である。

【図 1 0】

本発明の実施の形態の好ましい更に他の例の一部の断面図である。

【図 1 1】

本発明の実施の形態の好ましい更に他の例の一部の断面図である。

【図 1 2】

本発明の実施の形態の好ましい更に他の例の断面図である。

【図 1 3】

本発明の実施の形態の好ましい更に他の例の断面図である。

【図 1 4】

図 1 3 の例のラジアル軸受体及びシートの斜視図である。

【図 1 5】

本発明に係る環状片の他の例の平面図である。

【図 1 6】

本発明に係る環状片の更に他の例の平面図である。

【符号の説明】

- 1 滑り軸受
- 2 環状面
- 3 上ケース
- 4 環状面

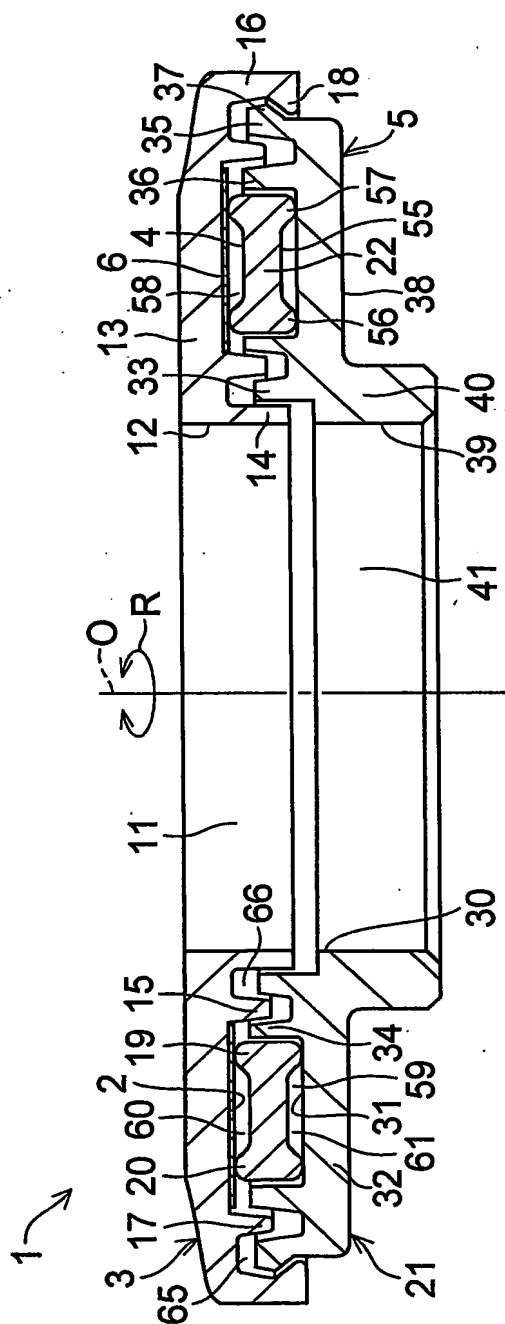
5 軸受体

6 シート

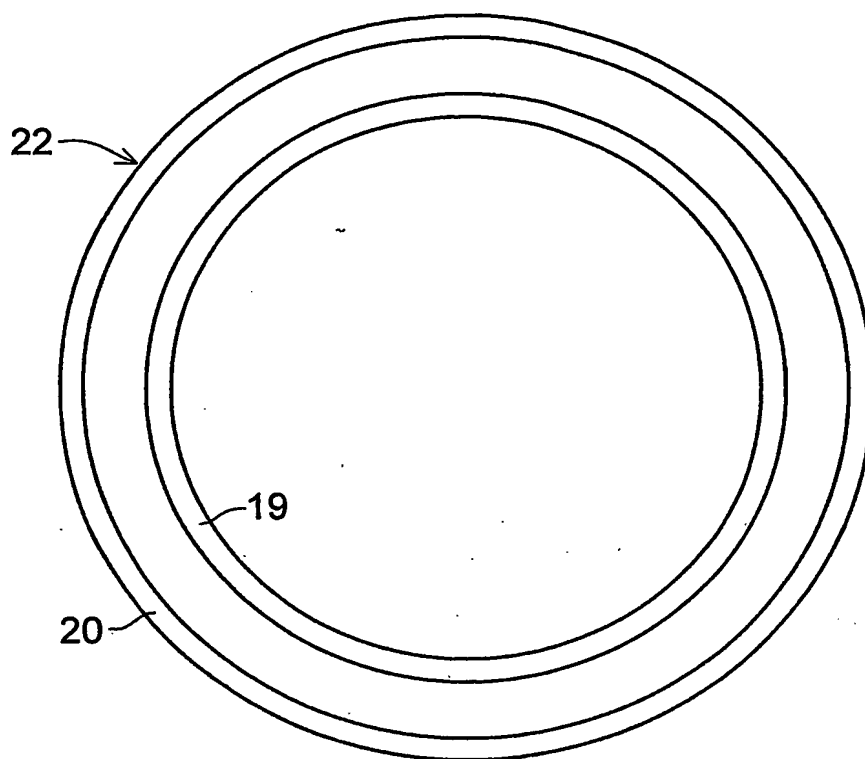
【書類名】

図面

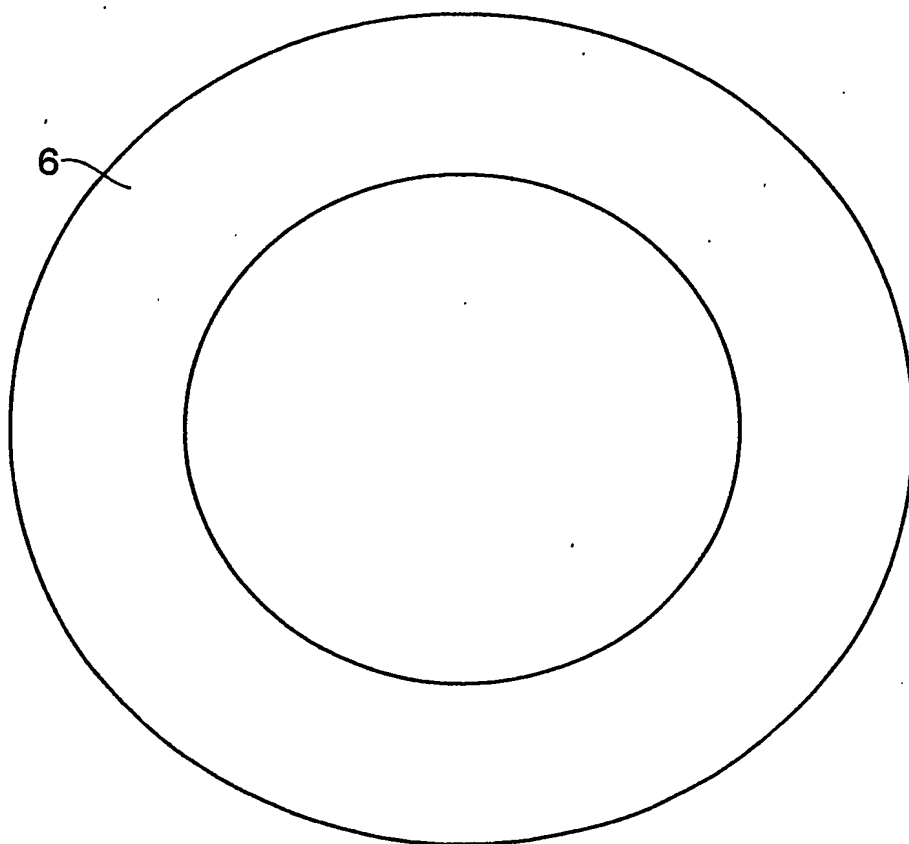
【図1】



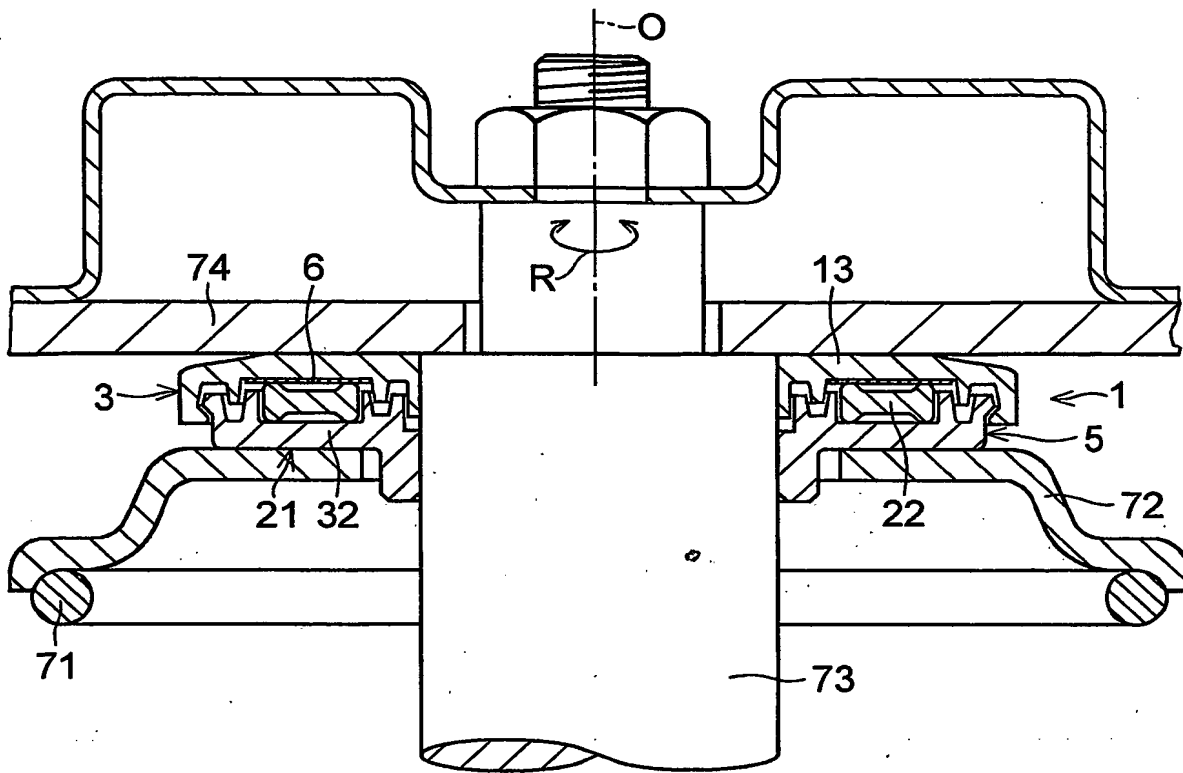
【図 2】



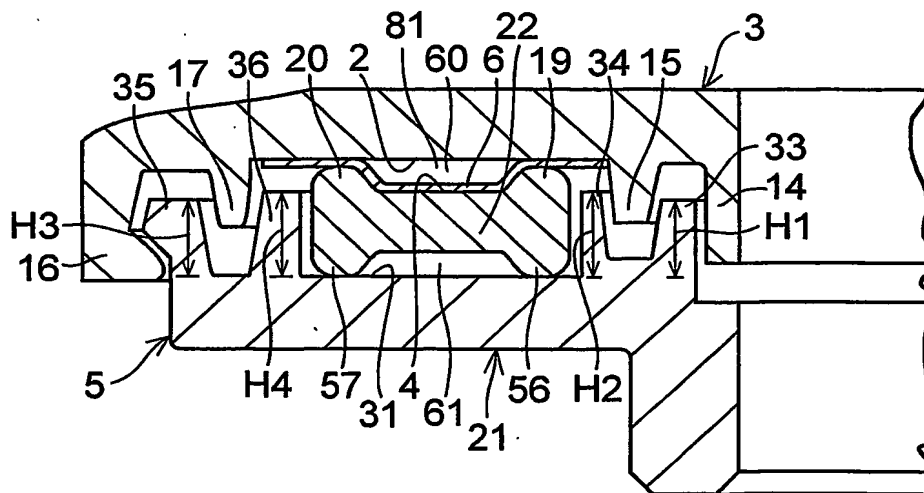
【図 3】



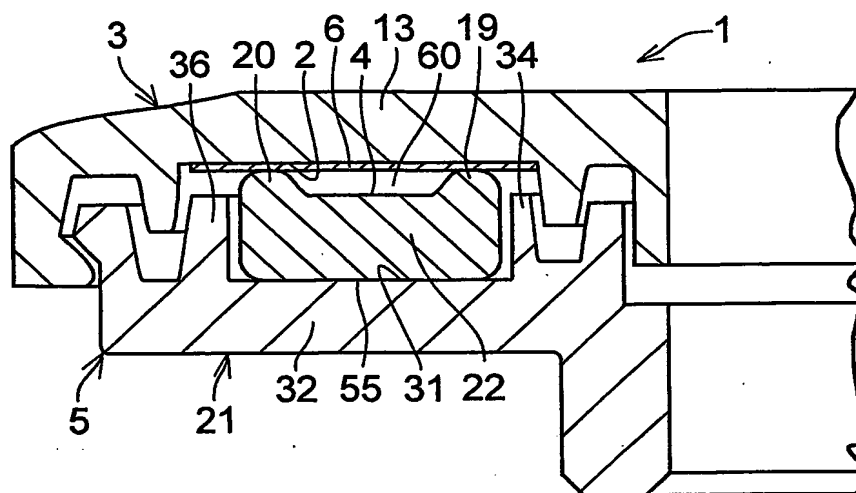
【図4】



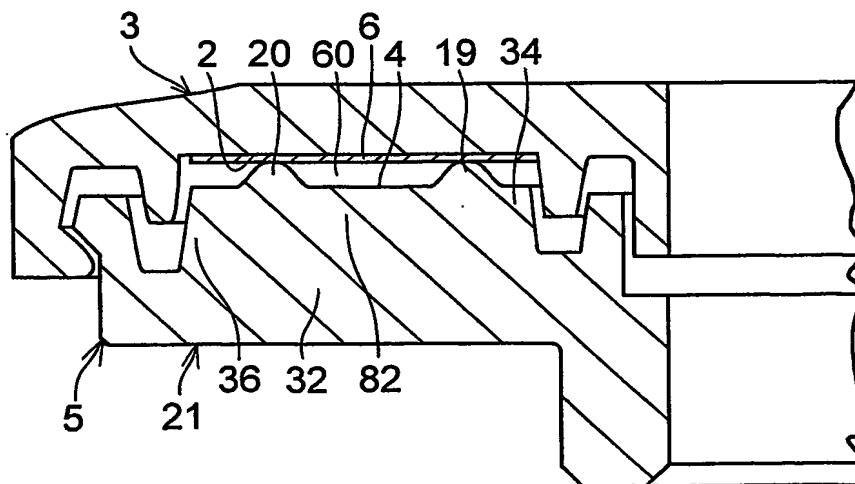
【図5】



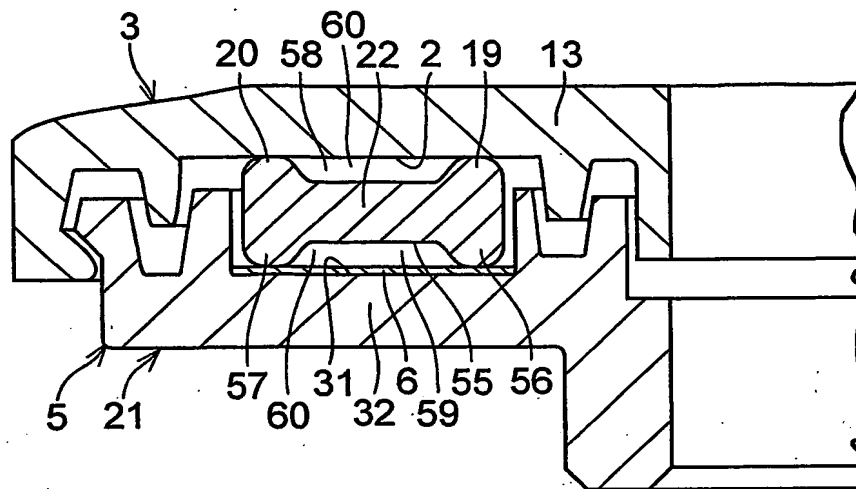
【図6】



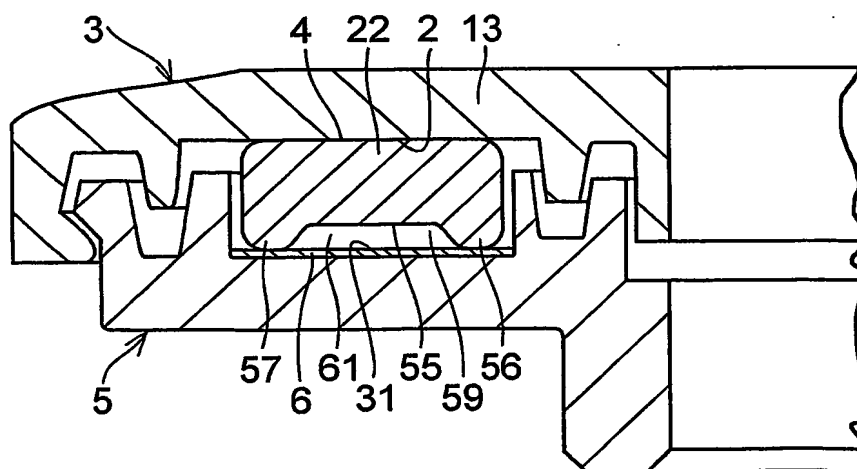
【図7】



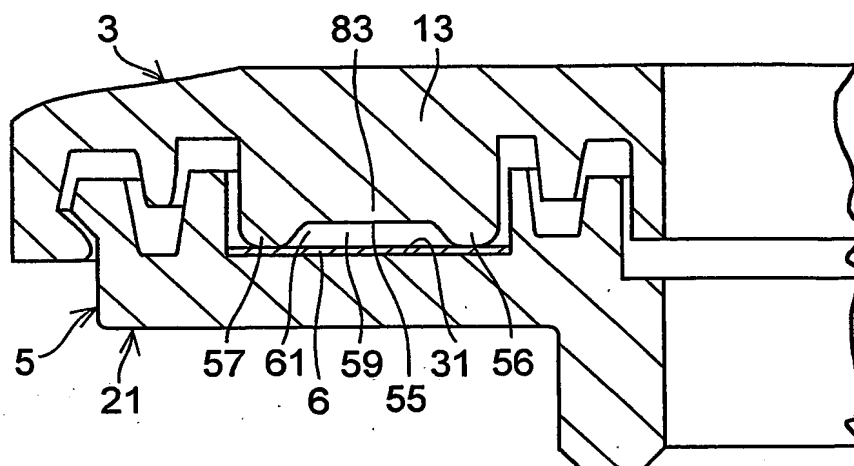
【図 8】



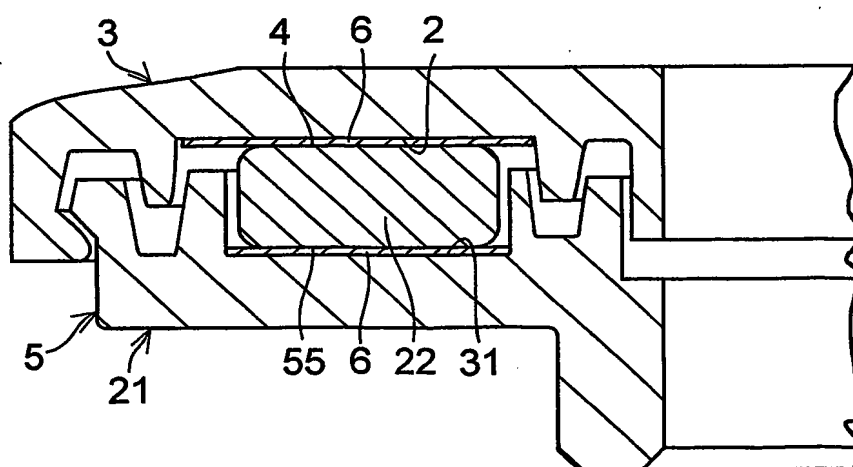
【図 9】



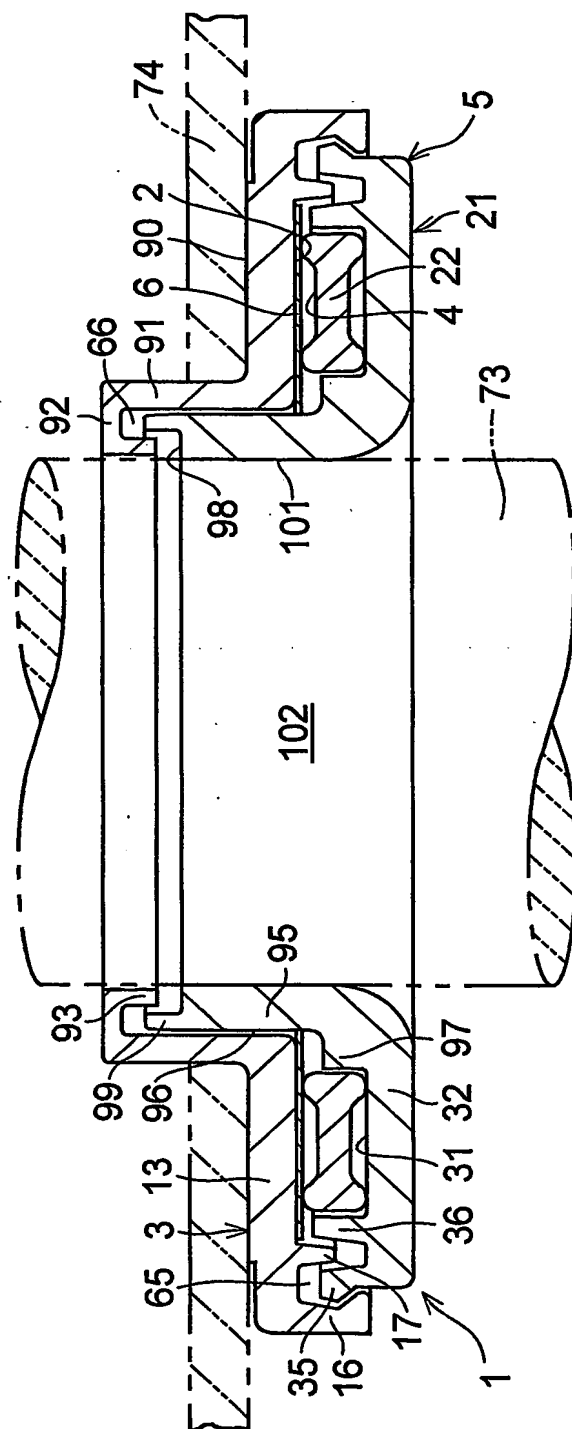
【図10】



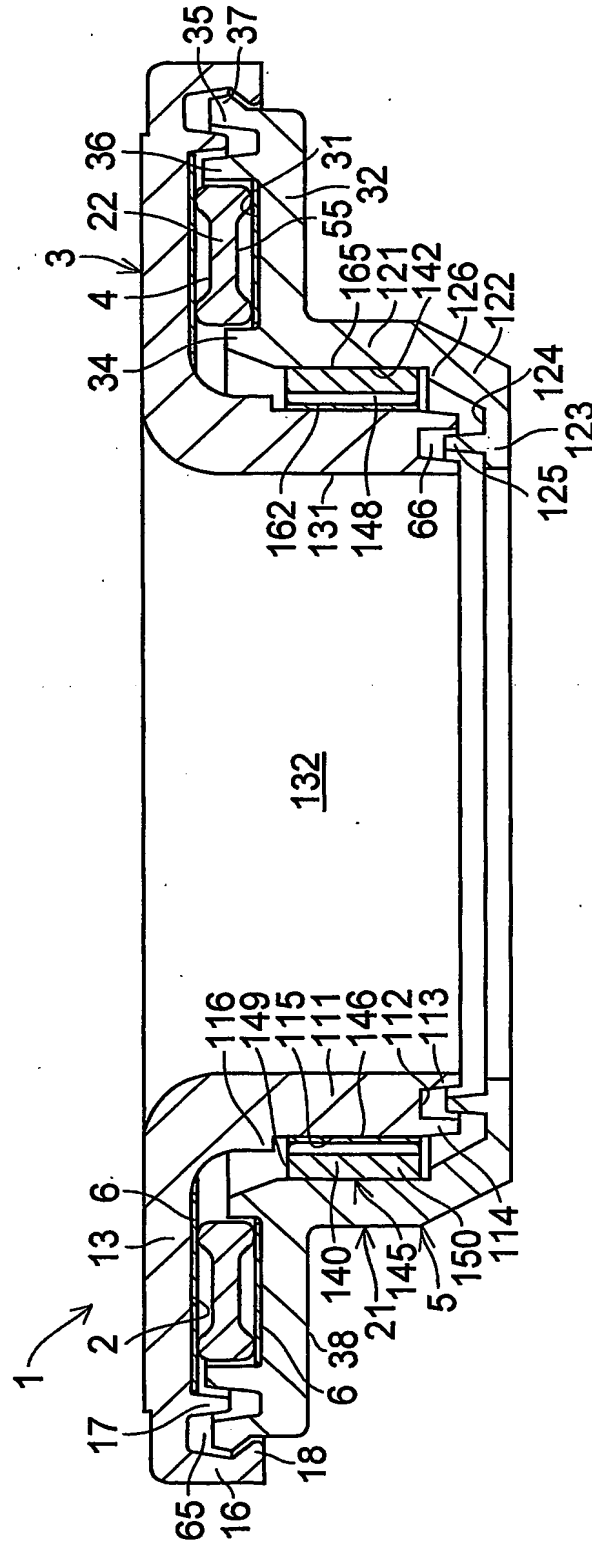
【図11】



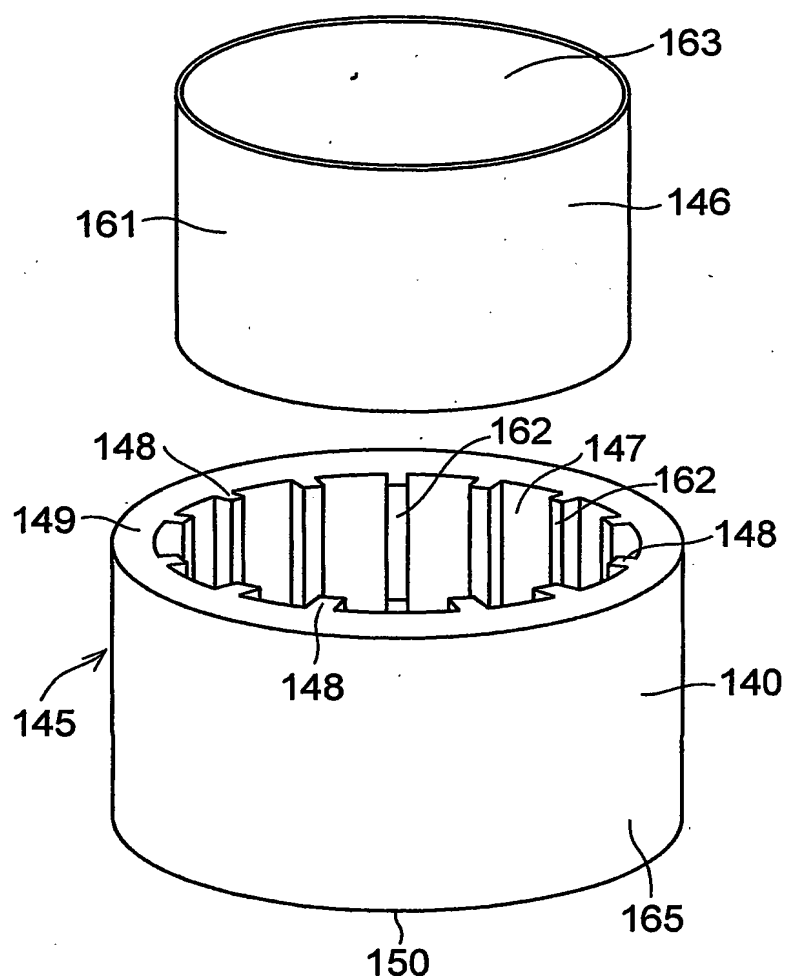
【図12】



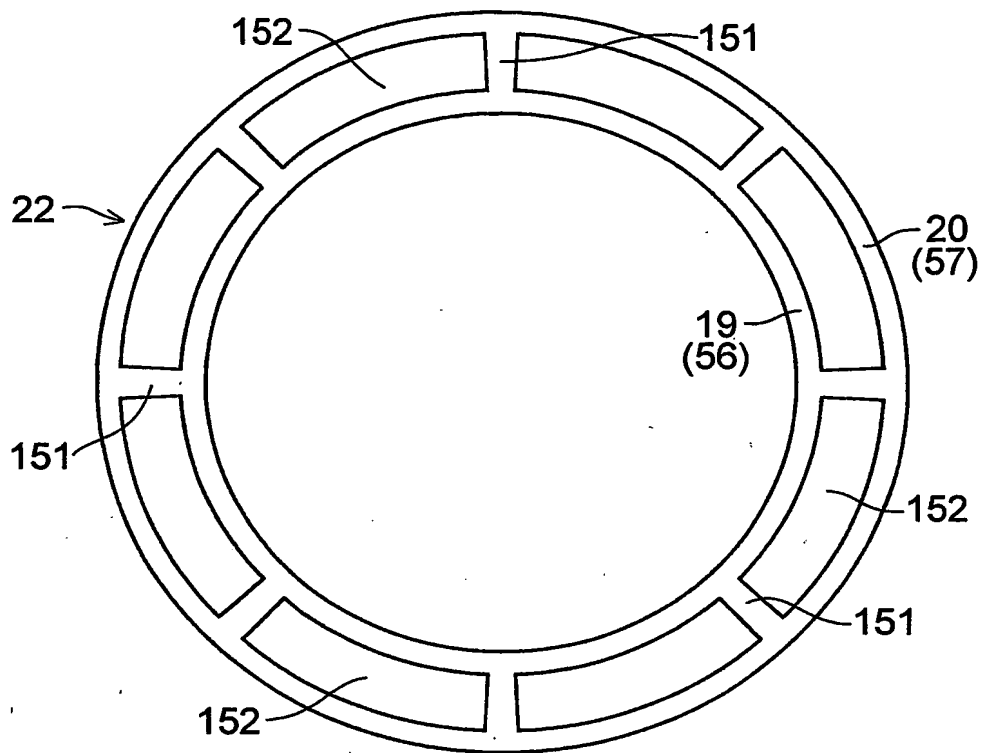
【図13】



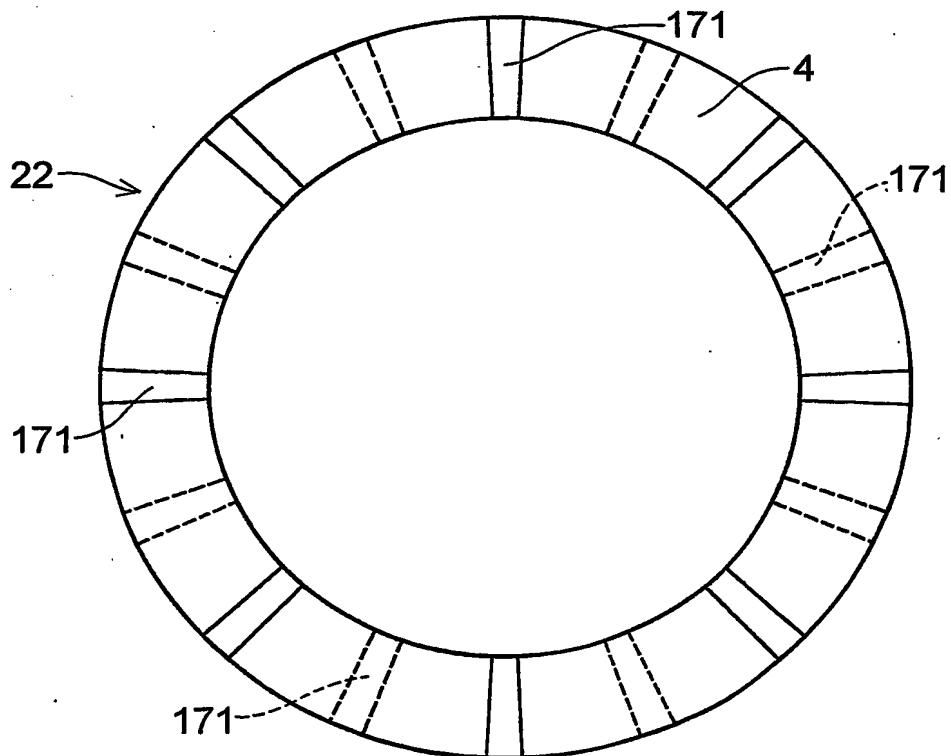
【図14】



【図 1 5】



【図 1 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 簡易に摩擦係数を調整できて最適な摩擦係数を得ることができ、ストラット型サスペンションにスラスト滑り軸受として組込んでもころがり軸受と同等の滑らかなステアリング操作を確保し得る上に、ステアリングハンドルのフラッタ現象をなくし得るように最適な摩擦係数に容易に調節することができる滑り軸受を提供すること。

【解決手段】 滑り軸受 1 は、ポリアセタール樹脂製の環状面 2 を有した上ケース 3 と、上ケース 3 に上ケース 3 の軸心 O の回りで R 方向に回転自在となるように重ね合わされると共に上ケース 3 の環状面 2 に対面した合成樹脂製の環状面 4 を有する軸受体 5 と、両環状面 2 及び 4 間に介在されていると共に上ケース 3 及び軸受体 5 の両方に摺動自在に当接している合成樹脂製の環状のシート 6 とを具備している。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000103644]

1. 変更年月日 1990年 8月 9日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都港区芝大門1丁目3番2号
氏 名 オイレス工業株式会社